



ねつ じゆうじざい うご きかい つく
熱を自由自在に動かせる機械を作り
 せかいじゅう ひと く ささ
世界中の人の暮らしを支えています

かぶしきがいしゃ ひ さ かせいさくしよ
株式会社日阪製作所

鴻池事業所 / 東大阪市東鴻池町 2-1-48 TEL.072-966-9600 <https://www.hisaka.co.jp/>
 創業 / 1942年(昭和17年) 従業員数 / 692名(2024年3月現在)



「働く人の声」の
 動画がみえるよ!

しょくばけんがくかう
職場見学可能です



ねつこうかんき なが み
熱交換器ができるまでの流れをみましょう!

えきたい なが しきねつこうかんき つく ぜんじどう きかい くわ
 てさぎよう ていねい せいぞう ひつよう
**液体が流れるプレート式熱交換器を作るためには、全自動の機械に加え、
 手作業で丁寧に製造することも必要です。**

1 にゅうか
入荷



ざいりよう きんぞく うす いた にゅうか
 材料となる金属の薄い板を入荷
 し全自動の機械にセットします。

2 せいせい
成形プレス



プレス機で金属板に強い力をかけて、
 でこぼこにしたり、孔を開けます。

3 ガスケットはり



えきたい がもれないように きんぞくぼん
 みぞ 溝にゴムをはりつけます。

6 しゅつか
出荷



おお ねつこうかんき
 大きい熱交換器はクレーンを
 つか 使ってトラックに乗せます。

5 けんさ
検査



えきたい なが
 液体を流すテストをしたり、
 サイズミスがないか測ります。

4 くみ た て
組み立て



ねつこうかんき わく
 熱交換器の枠にたくさんの
 プレートをはめこみます。

おおさか かんさいばんぱく わたし ねつこうかんき かつ
大阪・関西万博でも私たちの熱交換器が活やくするよ!

ねんおおさか かんさいばんぱく しきねつこうかんき さいよう
2025年大阪・関西万博に、プレート式熱交換器が採用されました!
 かいじょう く きゃく かいじょう すす はんちよう
 会場に来るお客さまが快適に過ごせるように、
 ちようせつ せつび じゆうよう やくわり にな
 空気の温度や湿度などを
 調整する設備の重要な役割を担っています。



提供: 2025年日本国際博覧会協会

わたし しごと
私たちの仕事

モノを冷やしたり、あたた 温めたりする熱交換器をつくる仕事
 です。1955年に日本初のプレート式熱交換器を開発し、
 げんざい にほん かいがい とど
 現在は日本だけではなく海外にもお届けしています。み
 なさんがあんぜん 快適に、そして便利に暮らせるように、
 わたし ぎじゆつ ささ
 これからも私たちの技術で支えています。



ねつこうかんき ぎじゆつ
熱交換器ってどんな技術?



おんど たか えきたい ひく えきたい ねつ つた きき ねつこうかんき
温度の高い液体から低い液体へ熱を伝える機器を熱交換器といいます。
 プレート式熱交換器は、うすい板 いた のすきまに、おんど えきたい
 交互に流して熱の移動を行います。



世界最大級のプレート式熱交換器

きょうかしよ こがた せかいさいだいきゆう
教科書くらいの小型サイズから4mほどの世界最大級
のサイズまでさまざまな大きさのプレート式熱交換器
を製造しています。
 プレート式熱交換器は、い しょく じゆう いやく かんきよう
 エネルギーなどあらゆる産業分野で活やくして
 います。

つか
こんなところで使われているよ!



でんき あんぜん あんてい おく
発電所
 電気を安全に安定して送れ
 るように、発電所内の各機
 器を冷やしています。



にもつ ひと はこ ふね うご
船舶
 荷物や人を運ぶ船を動かす
 エンジンを冷やし、安全な
 航海へとつなげています。



すいぞくかん せいか げんき しいく
水族館
 水族館の魚を元気に飼育
 するために、海水の温度
 調節を行っています。



おんせん おんど てきおん
温泉
 温泉の温度を適温にしま
 す。また、温泉熱を利用して
 洗い場のお湯を作ります。

はたら ひと こえ
働く人の声



ねつこうかんきじぎょうほんぶ
 熱交換器事業本部
 せいぞうぶ せいさくか はんちよう
 製造部 製作課 班長
 なかの まさと
中野 雅人 さん

き つか ねつこうかんき
 プレス機を使って熱交換器のプレート
 を作っています。みんなで一つのもの
 を作るのに、たが かんしゃ ことば つた あ
 互いに感謝の言葉を伝え合
 うことを意識しています。



ねつこうかんきじぎょうほんぶ
 熱交換器事業本部
 せいぞうぶ せいさくか はんちよう
 製造部 製作課 班長
 とまだ なおと
苦田 直人 さん

わたくし ちちおや こうじよう
 私の父親も工場モノづくりをして
 おり小さいころからあこがれていま
 した。いま せいぞう さいしゅうこうてい
 今、製造の最終工程である組み立
 ての作業にやりがいを感じています。